

国立研究開発法人水産総合研究センター  
平成 27 年度 契約監視委員会（第 1 回）議事概要

1. 日 時 平成 27 年 7 月 28 日（火） 14：00～16：00

2. 場 所 クイーンズタワー B 棟 7 階 D 会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3）

3. 出席者

委員長	細井 和昭	公認会計士
委員	蒲池 孝一	公認会計士
委員	苑田 浩之	弁護士
委員	林 義亮	神奈川新聞社 取締役論説主幹
委員	井上 龍子	(研) 水産総合研究センター 監事
委員	榎本 一高	(研) 水産総合研究センター 監事 (研) 水産総合研究センター事務局

4. 議題 ①平成 27 年度国立研究開発法人水産総合研究センター調達等合理化計画について  
②平成 26 年度第 4 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果  
③随意契約等見直し計画の平成 26 年度実施状況  
④公益法人への支出に関する見直し状況  
⑤平成 26 年度第 4 四半期の契約の抽出案件

5. 議事概要

・議題①平成 27 年度国立研究開発法人水産総合研究センター調達等合理化計画について

6 月 29 日に開催した契約監視委員会で承認された調達等合理化計画について、「次回契約監視委員会までに修正等が必要となった場合は再度点検し、平成 27 年 7 月末日までに公表すること」に関して、情報収集の結果、修正等の必要性は認められなかったため前回委員会で承認された調達等合理化計画を確定し、7 月中に公表する旨説明があり了承された。

・議題②平成 26 年度第 4 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果

契約実績、競争性のない随意契約及び一者応札・応募の類型別内訳、類型別の平均応札者数及び平均落札率、アンケート調査結果を踏まえた入札改善策などについて資料に基づき説明があった。

○「入札等に関するアンケート調査の結果」で、入札不参加の理由に「④過去の落札情報等から、受注見込み（落札見込み）がない」とあるが、指名競争入札でもないのに事前に受注見込みがないと判断することがあるのか。

→公表している過去の落札情報等を確認し、落札価格より金額を下げるのが難しいことや履行場所等の理由で受注見込みがないと判断したと推測している。

○同じく、入札等に対する意見・要望で「入札等の手続きの簡素化」が比較的多い回答となっているが、これ以上の簡素化は可能か。

→現在までに入札説明書をメールで送付する等、様々な簡素化を図っているが、入札に係る資格審査などの手続きが煩雑だという意見がある。可能な限り簡素化しているものの、不正な入札が行われないために必要な手続きであるため、これ以上の簡素化は難しい状況である。最近では「入札に係る Q&A」を作成し入札参加者に配布する等の取り組みを行っているが、引き続き入札参加者の負担を軽減できるよう工夫して参りたい。

・議題③随意契約等見直し計画の平成 26 年度実施状況

平成 26 年度の随意契約等の件数や金額の実績、前年度との比較と推移、見直し計画に対する平成 26 年度までの取組状況と結果について説明した。更に、随意契約等見直し計画に基づく点検は、平成 26 年度の契約分をもって終了することになり、平成 27 年度からは、冒頭確認した調達等合理化計画に基づき点検や評価を行っていくことになる旨、説明があった。

・議題④公益法人への支出に関する見直し状況

平成 26 年度に締結された公益法人との契約状況について説明があった。

・議題⑤平成 26 年度第 4 四半期の契約の抽出案件

細井委員長より今回の抽出方法（競争性のない随契、一者応札、高落札率、高額案件）と結果について説明があった。引き続き抽出審議案件 9 件の契約の内容について説明があり、それぞれ審議を行った。

「議題⑤平成 26 年度第 4 四半期の契約の抽出案件」について、抽出審議案件 9 件の質疑応答は以下のとおり

（一者応募）

**【93】リアルタイム海流観測係留ブイの改造および移設と水温リモート監視装置設置業務（東北区水産研究所）**

○業務の性質上、機器の仕様に精通している海流観測係留ブイの製造業者しか履行できないとのことだが、今後は最初の設置業務を契約する際に改造や移設を仕様を含めるなど検討すべきでないか。

→本装置は、同一箇所に長期間係留して観測するもので、設置当初から改造や移設は想定していないため、ご指摘の件は難しいと思われるが、今後も当初の発注については十分留意して参りたい。

（複数応札）

**【91】魚類筋肉の放射能測定業務（東北区水産研究所）**

- 応札者間で入札金額に大きな差があるが、要因について検証しているのか。
- 特に検証はしていないが、複数応札で競争性が高まり、応札者間の値引き額に差が出たものと推測している。
- 今回の予定価格積算方法による結果、低落札率となったことは注視すべきと考えられるため、予定価格積算方法について十分検討してもらいたい。

#### (一者応募)

#### 【68】 独立行政法人水産総合研究センター出張旅費システム改修及び保守業務（本部契約課）

- 本業務は毎年実施しているのか。
- 保守業務は毎年実施しているが、今回は改修業務を含めて契約した。
- 改修業務が含まれているが、現システムを改修するのではなく新たなシステムを構築することは考えなかったのか。
- 新たなシステムを構築する場合、システム購入だけで2千万円以上の費用がかかること、システムを水研センター仕様に改修するのに更に費用がかかること、操作方法の習熟等、新たなシステムの構築と現システムの改修を総合的に検証した結果、現システムを改修するほうが費用を抑えられ、かつ効率的と判断した。
- 1者応募の改善方策で著作権は同社のものとありながら、状況変化もあり得ることから継続して状況を聞き取るとあるが、状況変化とは何か。
- 当該業者が他社（代理店）でも改修・保守業務を実施させる可能性もあるため、継続して状況を聞き取ることとしている。

#### (一者応札)

#### 【62】 瀬戸内海区水産研究所伯方島庁舎本舎耐震補強その他工事（瀬戸内海区水産研究所）

- 1者応札の改善方策として県外業者への声かけを行うとあるが、本業務の入札参加資格に県外業者は対象外だったのか。
- 県外業者を対象外とはしていない。一者応札改善のため、今後は県外業者も含め幅広く声かけを行うということである。

#### (一者応札)

#### 【35】 漁網監視装置（西海区水産研究所）

- 本来なら公募すべきとあるが、次回からは6月の契約監視委員会で承認された契約事務取扱規程の随意契約条項により新たに随意契約をする案件になるのか。
- 特定調達契約は契約事務取扱規程の特例を定める規程に基づくため、改正した契約事務取扱規程では適用することができない。

#### (一者応札)

**【30】ゼブラフィッシュ飼育装置（中央水産研究所）**

○特になし。

(複数応札)

**【13】液体クロマトグラフ質量分析装置（中央水産研究所）**

○特になし。

(競争性のない随意契約)

**【随契4】しらふじ丸2号発電機シリンダヘッド交換業務（瀬戸内海区水産研究所）**

○定期整備中に異常を発見したとあるが、整備はどのぐらいの頻度で行っているのか。

→定けい港に停泊している期間中に船舶職員が日常的に点検を行っている。

○船舶職員による日常点検とのことだが、異常の発見時期は妥当だったのか。一般競争に付さないようにするため意図的に発見時期を遅らせたということはないか。

→調査航海後に行った日常点検で発見したものであり、早期の発見と認識している。

○緊急随契であるため、より詳細な時系列を説明してもらわないと、意図的に発見時期を遅らせたのかを疑ってしまうので、真に緊急であるかの妥当性を競争入札等推進委員会で十分議論した上で進めてもらいたい。

(競争性のない随意契約)

**【随契1】2～3月分船舶用重油（高知港）（本部船舶管理課）**

○特になし。

・その他

総務省に報告を求められている、2カ年連続一者応札・一者応募となった案件（2件）のフォローアップ票に関しては、今回審議対象とはなっていないが、契約監視委員会コメント案を作成し委員長とその内容を調整すること、その上で各委員に確認を受けるため、今回抽出から漏れた案件も含めた上で質問があれば説明資料を準備するので8月28日までの連絡を受け付ける旨、事務局から連絡があった。

次回の委員会は平成27年度第1四半期の契約が審議対象になり、開催日は10月下旬を予定していること、8月中に事務局から各委員へ日程調整の連絡を予定していること、それに先立ち、次回の審議案件の抽出を蒲池委員に依頼する旨、事務局から連絡があった。